

第85期 中間株主通信

2021年4月1日▶▶2021年9月30日

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組



建物名: SOSiLA大阪 / レンゴー淀川流通センター 発注者: 住友商事株式会社・レンゴー株式会社



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2021年9月30日をもって第85期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

取締役社長 櫻野泰則

当上半期の業績

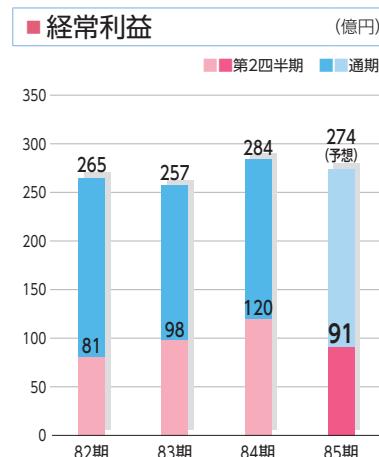
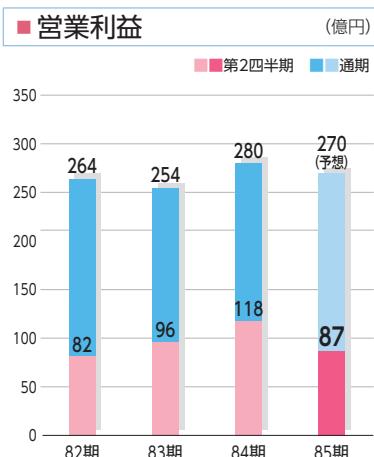
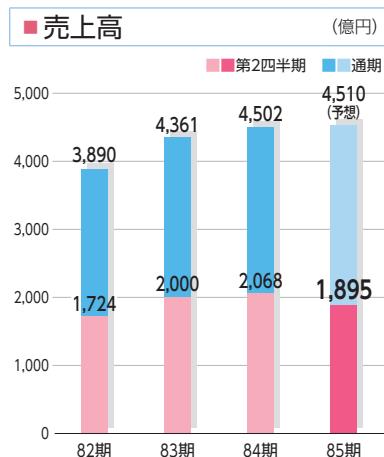
当上半期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、足元の景況感は海外経済の回復に伴う輸出の増加等を背景に改善傾向がみられるものの、対人サービス関連は緊急事態宣言の発令による需要の減少等により厳しい収益環境が継続するなど、景気は依然として予断を許さない状況が続いて

おります。

建設業界におきましては、民間企業の建設投資や住宅建設は持ち直しの動きがみられ、公共投資も関連予算の執行により高水準で推移しているため、受注環境は一定の水準を維持できている状況にあります。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、期首手持工事の減少等により前年同期比8.4%減の1,895

連結業績ハイライト



億円となりました。利益は、売上高の減少並びに売上総利益率の低下に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は同26.5%減の87億円、経常利益は同24.1%減の91億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等27億円などを加減算し、同19.0%減の62億円となりました。

対処すべき課題

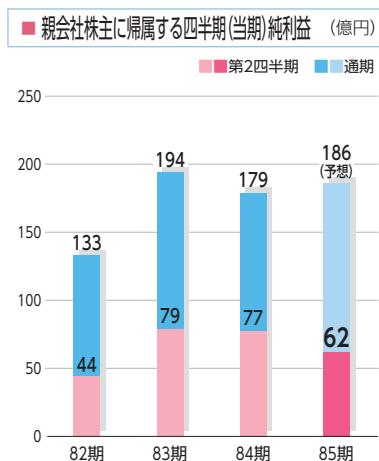
今後の我が国経済は、活動制限の緩和に伴う世界経済の回復により輸出が増加基調を維持し、国内においても政府の各種政策やワクチン接種の進展等により個人消費や企業収益の回復が見込まれますが、新たな変異株の出現やワクチンの感染防止効果の減衰等に伴う感染再拡大への懸念は拭えず、景気は依然として先行き不透明な状況にあります。

建設業界におきましては、民間企業の建設投資は業種によってばらつきがありながらも需要増加を背景に緩やかな回復ペースが続き、公共投資は2021年度予算において前年度とほぼ同水準が確保されており、とりわけ気候変動の影響により頻発する大規模自然災害や高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化に

対する工事への集中投資が見込まれております。また、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたインフラ整備の動きは、今後の官民の設備投資を一定程度下支えすると考えられます。なお、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合、対策コストの増大や資機材供給の停滞などのリスクに留意する必要があります。

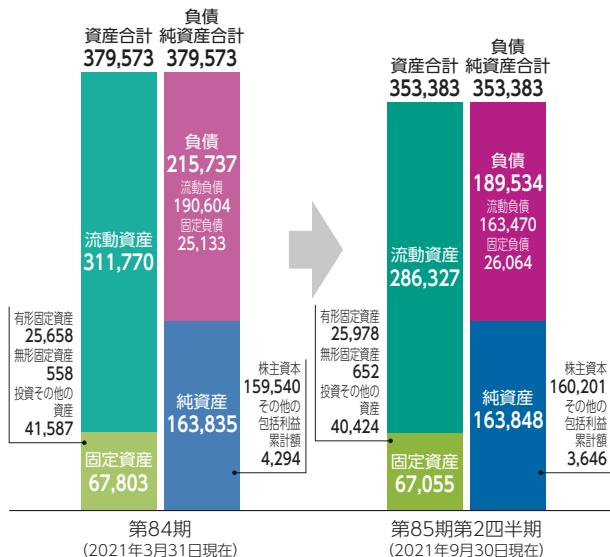
昨今、自然災害が激甚化・頻発化し、また、高度経済成長期に整備された社会インフラの老朽化が進行するなど、人々の暮らしや産業の発展を支える基盤に大きな影響を及ぼしています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大は人々の価値観や行動様式を変化させるなど、まさに将来の不確実性が高まっています。

このような状況のもと、当社グループは本年5月に、社会から求められる建設サービス業の担い手として“限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会”の実現に貢献する長期構想を定めると共に、2023年度の連結売上高4,700億円・連結経常利益330億円を財務目標に定めた『熊谷組グループ 中期経営計画(2021～2023年度)～持続的成長への弛まめ挑戦～』を策定しました。本計画にグループ一丸となって取り組み、持続的成長への挑戦を続けてまいります。

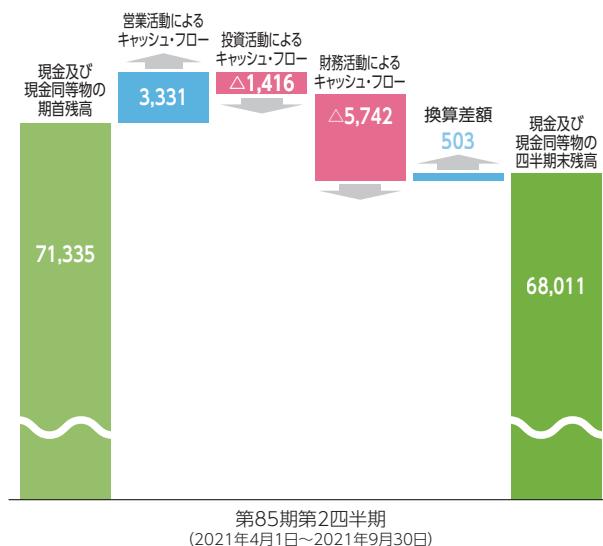


四半期連結財務情報(要約)

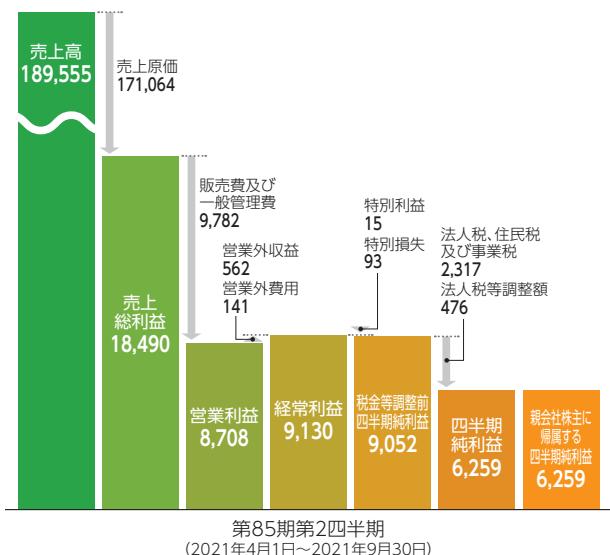
■ 四半期連結貸借対照表の状況 (百万円)



■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の状況 (百万円)



■ 四半期連結損益計算書の状況 (百万円)



ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

総資産は3,533億円と前期末に比べて261億円減少しました。これは、受取手形・完成工事未収入金等及び未収入金などの債権の回収が進んだことによるものです。また純資産は1,638億円となり、自己資本比率は前期末に比べて3.2ポイント向上し46.4%となりました。

■ 四半期連結損益計算書

売上高は前年同期に比べて173億円減少の1,895億円となり、売上高の減少並びに売上総利益率の低下に伴う売上総利益の減少等により経常利益は91億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の計上により62億円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

売上債権の減少等により、営業活動は33億円の資金増加となりました。投資活動では有形固定資産の取得による支出などにより14億円の資金減少となりました。財務活動では配当金の支払いなどにより57億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて33億円減少の680億円となりました。

単体の業績について

受注高は、前年同期比10.5%増の1,087億円となりました。このうち、土木工事は335億円、建築工事は752億円であり、これらの発注者別内訳は官庁25.8%、民間74.2%であります。

売上高は、同11.6%減の1,479億円となりました。このうち、土木工事は469億円、建築工事は1,009億円であり、これらの発注者別内訳は官庁20.0%、民間80.0%であります。

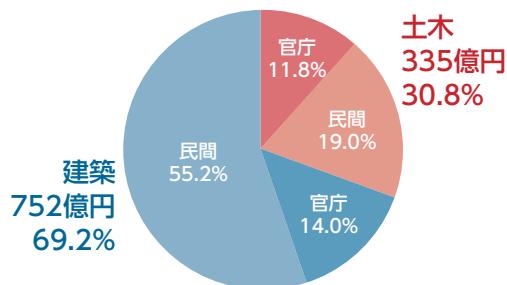
この結果、下半期への繰越高は、同9.9%減の4,270億円となりました。

利益につきましては、経常利益は91億円、四半期純利益は67億円となりました。

■ 損益等の状況

区 分	85期上半期	前年同期比
受 注 高	1,087億円	(10.5%増)
売 上 高	1,479億円	(11.6%減)
繰 越 高	4,270億円	(9.9%減)
四 半 期 純 利 益	67億円	(12.4%減)

■ 受注高構成



主な受注工事及び完成工事

受注工事

- 道北風力発電事業勇知ウインドファーム建設工事：株式会社関電工
- R 3 荒川右岸小台一丁目地区高規格堤防工事：国土交通省
- (仮称)東京女子学園中学校・高等学校建替え計画：学校法人 東京女子学園
- 金沢市民サッカー場建設工事(建築工事)：金沢市

完成工事

- 上坪浄水場更新事業施設建設工事(30国補上坪更新第1号)：ひたちなか市水道事業所
- 九州新幹線(西九州)、第1岩松トンネル外3箇所他：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 高崎森永株式会社高崎第3工場：森永製菓株式会社
- 金澤雅壇：金沢駅武蔵南地区市街地再開発組合



九州新幹線(西九州)、第1岩松トンネル外3箇所他



金澤雅壇

創業の地に新たな福井本店が完成

当社の創業地・福井市において建て替えを進めてきた「熊谷組 福井本店」が本年8月に竣工しました。

新本店ビルの構造は、中高層木造建築の実現を見据え、鉄骨造と木造のハイブリッド構造とし、柱・梁には、当社が独自に開発した木質耐火部材「断熱耐火入-WOOD®(ラムダ・ウッド)」を使用しています。

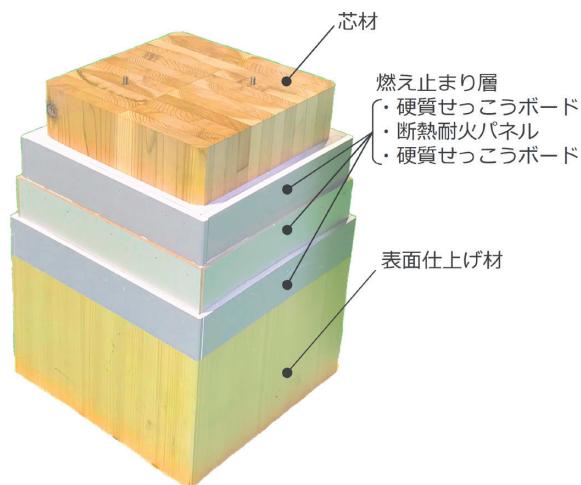
また、ZEB(Net Zero Energy Building)※化にも取り組みました。建設地が日照時間の少ない多雨・多雪地域であり、場所が狭小地であるなど多くの制約はありましたが、それらを克服するため、外皮性能の「高断熱化」や外壁面にライトスルー型両面発電タイプのパネルを設置するなど、様々な手法を採用することにより、一次エネルギー消費量を全体で83%減らすことに成功し、ZEBカテゴリー内の「Nearly ZEB」を取得しました。

今後は、建物を実際に使用しながら環境負荷低減のデータを収集し、今後の中大規模木造建築における技術開発へとつなげると共に、未来に向けた当社の取り組みのモデルケースとして環境配慮型の建築物の普及に向けた積極的な営業展開を図ってまいります。

※ZEBとは、建築物における一次エネルギー消費量を、建築物・設備の省エネ性能の向上、エネルギーの面的利用、オンサイトでの再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間での一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロまたは概ねゼロとなる建築物。



「断熱耐火入-WOOD®」とは



「断熱耐火入-WOOD®(ラムダ・ウッド)」とは、建築物への木質部材の利用を図るために、主要構造部(柱・梁・床・壁)における耐火性能を満たすよう当社が開発した新たな木質部材です。

「断熱耐火入-WOOD®」は、柱・梁(1~3時間)、床・壁(1~2時間)において、国土交通大臣認定を取得しており、これにより建築基準法上の耐火要件による階数の制限がなくなり、どのような階数の建物であっても純木造で建築することが可能になりました。

部材の特徴として、荷重支持部(柱・梁・床・壁)の周囲に設置する燃え止まり層※を硬質せっこうボードと断熱耐火パネルの積層により、従来工法と比較して総厚を薄くしました。さらに、表面仕上げ材に様々な材料を選択することが可能となっています。

※燃え止まり層とは、荷重支持部材の外側にある焼焼を停止させる層。

会社の概要

(2021年9月30日現在)

創業 1898年1月
設立 1938年1月
資本金 301億851万615円
従業員数 2,760名

主要な営業所

本店
福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006 TEL(0776)21-2700

北陸支店
金沢市広岡2丁目13番5号
〒920-8721 TEL(076)208-3230

東京本社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3260-2111

関西支店
大阪市西区靱本町1丁目11番7号
〒550-0004 TEL(06)6225-2226

北海道支店
札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061 TEL(011)261-7271

中四国支店
広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL(082)241-3222

東北支店
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL(022)262-2811

四国支店
高松市木太町3027番地1
〒760-0080 TEL(087)862-2011

首都圏支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3260-4750

九州支店
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004 TEL(092)721-0011

名古屋支店
名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL(052)238-3011

技術研究所
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL(029)847-7501

海外拠点
台湾、中国(香港)、ベトナム、インドネシア、ミャンマー

(注)当社は、2021年9月6日付で本店所在地を「〒910-0005 福井市大手3丁目2番1号」から「〒910-0006 福井市中央2丁目6番8号」へ変更しております。
なお、電話番号は変更ございません。

役員 の 状 況

(2021年9月30日現在)

取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	櫻野 泰 則	取締役	岡田 茂
取締役 (代表取締役)	嘉藤 好 彦	取締役	桜木 君枝
取締役 (代表取締役)	小川 嘉 明	常勤監査役	小西 純 治
取締役	日高 功 二	監査役	鮎川 真 昭
取締役	上田 真	監査役	佐藤 建
取締役	岡市 光 司	監査役	竹花 豊
取締役	吉田 栄		

(注)取締役吉田栄、岡田茂及び桜木君枝の各氏は社外取締役、監査役鮎川真昭及び竹花豊の両氏は社外監査役であります。

グループ会社

株式会社ガイアート
東京都新宿区新小川町8番27号
〒162-0814 TEL(03)5261-9211

ケーアンドイー株式会社
東京都千代田区富士見2丁目7番2号
〒102-0071 TEL(03)3512-2211

華熊營造股份有限公司
台湾台北市敦化南路一段205号
TEL +886-2-2721-0427

テクノス株式会社
愛知県豊川市穂ノ原2丁目1番地
〒442-0061 TEL(0533)84-1111

株式会社ファテック
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3235-6269

テクノスペース・クリエイティブ株式会社
東京都豊島区東池袋3丁目12番12号
〒170-0013 TEL(03)5960-1070

株式会社テクニカルサポート
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3235-8131

コーポレートレポートのご案内

本年8月に「熊谷組グループ コーポレートレポート2021」(A4判、68ページ)を発行しました。
当社グループの経営方針、事業戦略や価値創造の取り組みについて紹介しています。
ご希望の方は(有)インフォワードが運営する「エコほっとライン」からお申し込み
ください。

エコほっとライン 熊谷組

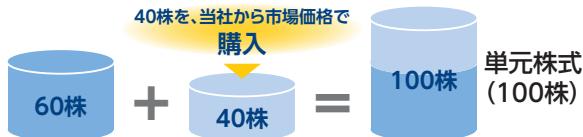
検索



単元未満株式の買増請求制度のご案内

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。



各種お手続きのお申し出先

①証券会社口座にある株式 → お取引先の証券会社

②特別口座にある株式 → 三井住友信託銀行

(下記までお問い合わせください。)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-782-031

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

配当金のお支払期限について

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。

支払開始日から3年以上経過した配当金については除斥期間を経過したものととして、ご請求いただいてもお支払することができません。配当金はお支払開始後お早目にお受け取りください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで	株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月開催	同 連 絡 先	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ 公告して定めた日	郵 送 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	電話照会先	☎0120-782-031
上場証券取引所	東京証券取引所	公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載します。 < https://www.kumagaigumi.co.jp/ > ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告 をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	1861		

表紙写真 建物名:SOSiLA大阪/レンゴー淀川流通センター 発注者:住友商事株式会社・レンゴー株式会社

住友商事株式会社が展開する物流施設ブランド[SOSiLA]の最新スペックと、レンゴー株式会社のポリシーを掛け合わせた新たな物流拠点です。「CAS BEE Aランク」を取得し、環境性、安全性、可変性、事業継続性、利便性に優れた施設となっています。さらに、JR大阪駅から3.5km圏内という好立地を活かし、都市部への配送に適した拠点として期待されています。



熊谷組

〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2番1号
TEL (03) 3260-2111
<https://www.kumagaigumi.co.jp/>

